

身体障害者手帳診断書作成と補装具意見書作成の現状 に関するアンケートへのご協力をお願い

日本リハビリテーション医学会 障害保健福祉委員会

担当理事 水落 和也

委員長 篠原 裕治

現在障害保健福祉の分野は障害者制度改革の流れの真ただ中にあり、従前の障害者関連法の改正から新法の公布に至るまで障害保健福祉施策が次々と出されております。昨年度は改正障害者基本法が施行、本年度は障害者自立支援法整備法が全面的に施行となりました。また今般、障害者虐待防止法も施行され、障害者総合支援法の施行も平成 25 年度より施行となります。

このような状況の中、障害保健福祉委員会としては、障害福祉サービスの重要な要素の 1 つとなっている身体障害者手帳診断書作成と補装具意見書作成の現状についての調査を企画しました。つきましては、会員の先生方のご意見を伺わせていただきたく存じますので、ご面倒ですがよろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

調査は今回 web アンケートとして実施いたしますので、学会ホームページの会員専用ページ（下記）にログインしてご回答いただけますようお願い申し上げます。

<https://member.jarm.or.jp/mypage/>

期限は平成 25 年 2 月末日となっております。調査分析には多くの方々よりの回答が必要になります。お忙しい中恐縮ですが是非ともご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、今回のアンケート集計結果および分析内容については、個人が特定できない形でリハビリテーション医学会の活動の基礎資料として利用・公表等させていただく予定です。ご回答にあたり、ご了解いただきますようお願い申し上げます。